



3



1



4



2

1.ワークスペースと子ども部屋はひとつながりで、子どもの成長に合わせてさまざまに使える。2.題して「星を見るための天窗」。「高すぎるとせっかくの大開口も小さくしか見えないので(今井さん)」と手の届く高さに。3.「女の子2人なので、将来取り合いになるから(Sさん)」と洗面台は二つに。4.階段は腰壁で、採光と開放感の両方を叶える。

設計 今井ヒロカズ設計事務所
秋田市 A邸
case 02



地産地消にこだわった 自然素材が呼応する家

無垢の秋田スギが裸足に気持ちいい。開放的な吹き抜けは、冬には蓄熱暖房と薪ストーブの熱が効率よく回る仕組み。

「子どもたちのために、秋田で家を持とう」。そう決めて秋田に戻り、秋田県産材をふんだんに使った家を、秋田の建築家と建てたA邸の話。

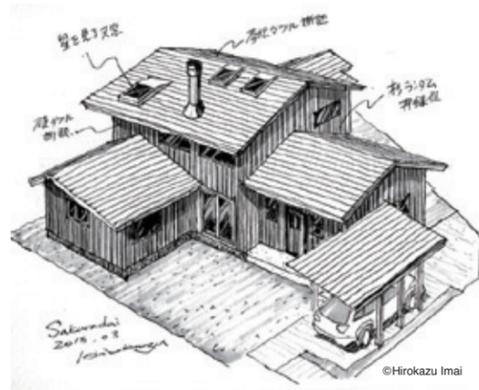


ランダムな幅の縦貼りの杉板が自然と周囲に馴染む。

自然で普遍性のある家を提案しています。家は住むための道具だと思っています。シンプルで性能がよい道具ほど長く使い続けられるのではないかと考えます。



設計 今井さん



©Hirokazu Imai

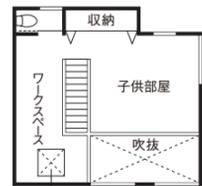
設計者の今井ヒロカズさんによるA邸のスケッチ。入居する前から親しみがわきそうな気さくな外観。

Data

- 設計 今井ヒロカズ設計事務所
- 施工 志村建設株式会社
- 竣工 2015/4
- 構造・工法・規模 木造・在来軸組工法・2階建
- 敷地面積 226.91㎡(約69坪)
- 床面積 142.25㎡(約43坪)
- 1階 93.56㎡(約28坪)
- 2階 33.95㎡(約10坪)
- カーポート 14.74㎡(約4坪)

主な設備

- ▶暖房設備 蓄熱式土間温水配管(ガス)、薪ストーブ(安保護治屋)
- ▶給湯設備 エコジョーズ
- ▶バス タカラスタンダード ミーナ
- ▶トイレ LIXIL サティス(1階) LIXIL アメージュ(2階)
- ▶キッチン タカラスタンダード エーデル
- ▶調理設備 ガス
- 主な仕上げ材
- ▶床材 秋田スギ無垢板、蜜蝋ワックス、天然コルク ▶壁材 珪藻土入り薄塗り壁、クロス ▶窓仕様 樹脂サッシ Low-Eペアガラス ▶屋根材 ガルバリウム鋼板 ▶外壁材 秋田スギ縦貼胴縁押さえ ▶長期優良住宅認定あり
- コスト(税抜)
- ▶建築総工費 2600万円台
- ▶坪単価 60~65万円



2F



1F



子ども部屋にも天窗を設置。「夜、ここからお月さまが見えるんだよ」と香帆ちゃん。

子どもたちののびのびとした姿に家の心地良さは、一目瞭然。

に呼応した住みやすさを追求した家であることがわかる。

Aさん一家は、秋田に帰郷してすぐの頃、祖父母から受け継いだ古い家に住んでいたという。古い家では段差が多かったし、小さな子どもがいると、ちょっとしたところに思わぬ危険が潜んでいて、ひやっとすることがありました。子どもを一人でトイレに行かせることもできなかったんです」とAさん。「この家は全体が見渡せるし、とても使いやすいので、子どもたちが自分で行けることが増えましたね。子どもたちが大きく成長したように感じます」と弾んだ声で語った。

結婚以来、転勤族だったというAさん一家。「子どもたちが成長する時期だけでも、環境のいいところに定住したい」という思いで、妻のSさんの出身地である秋田に帰郷したという。

せっかく秋田で家を持つのであれば、秋田の地域活性化に役立つ家づくりがしたいという思いがあったAさん。秋田スギや男鹿石といった、県産材を積極的に使用している今井ヒロカズさんに設計を依頼することにした。外観は3種類の幅の秋田スギ板を縦貼りに。さらに内装だけでなく、目に触れることのない構造に至るまで、秋田スギをふんだんに使用した。また来客が多いというA邸では、靴を脱がずに気軽に接客ができるという理由から土間を採用しているが、その土間には男鹿石を敷き詰めている。さらに薪ストーブは外国メーカーのものが圧倒的に多いなか、二ツ井の鍛冶屋さんに製作を依頼するなど、まさに地産地消の家づくりとなっている。

「せっかく星がよく見える環境なのだから、星を見る部屋がほしい」というAさんの要望により、2階の天窗は手が届くほど近くに大きく開口。「ここに天体望遠鏡を置いて、星座観察をしたいんです」と話すAさんを、2人の子ともたちがうれしそうに見上げる。さらに「敷地北側に雑木林があるので、緑を楽しめるように北側にも窓を設けました。2方向に開口があるため、通風もよりよく確保できています(今井さん)」と立地